

町長施政方針	02
令和5年度予算	03
一般会計・特別会計討論	04~06
総括質疑	06~07
請願・発議、議案採決結果	07
一般質問~町政を問う	08~13
自治功労者表彰	13
委員会レポート	14~15
町民登場	16

# つなまち

2023年4月20日発行

No.227

天までとどけ!  
「まくぞ」・「さんよ」



多間天押合大祭と護摩（陣場下）

津南町議会

検索

町のホームページでも議会だよりをご覧になれます。  
発行：新潟県津南町議会 責任者：議長 恩田 稔



令和5年第1回定例会が開催され、新年度予算案に対し今まで以上に活発な議論が交わされました。一般会計において3月中に減額補正することの申入れもあり、令和5年度予算をすべて可決致しました。

## 令和5年度 町長施政方針

「ともに歩もう、この先の津南へ」の思いも新たに、町民全員の生活を守り、将来に向けて人を育む、その強い覚悟で歩んでまいります。町民の皆様が津南の自然の中に抱かれ、隣近所や大切な家族・友達と声を掛け合い、安心できる暮らし、これ続け、活気が出る町へ。そのため、今ある困難な課題に皆様とともに進取果敢に取り組んでまいります。

### 主な歳入状況

町民税は新型コロナウイルスの影響が懸念されていましたが、予想していたほどの減収が見られなかったことから、対前年度比4.6%増の3億3,518万円。固定資産税は対前年度比3.1%増の5億8,005万円。国庫支出金は埋蔵文化財保存活用整備事業の増により対前年度比11.4%の増の5億1,407万円、地方交付税は対前年度比0.9%増の32億7,000万円。

### 主な歳出（施策）

#### 総務関係

- ①耐用年数が経過した役場庁舎非常用発電機改修（災害時の体制強化）
- ②マイナンバーカードによりコンビニで住民票や印鑑証明の交付ができるシステム導入。
- ③婚活マッチングシステムの初回登録料の補助等。
- ④ニュー・グリーンピア津南のホテル棟の老朽箇所の修繕や、指定管理としたスキー場のリフトの修繕。
- ⑤消防団員の報酬額を引き上げ処遇改善。

#### 福祉保健関係

- ①障がい者福祉では、福祉事業者や関係団体と連携し相談支援や生活支援体制を強化。
- ②看護師等確保対策として津南病院に正職員としての就職者に支援金50万円を支給。

#### 農林関係

- ①国内最大級の米の品評会である米・食味分析鑑定コンクールの契機として品質・食味向上に向けた取り組みを推進。
- ②畑作では、生分解性マルチ等の生物資源由来プラスチック

資源の利用促進を引き続き支援。

- ③畜産では、豚熱等の家畜伝染病の発生防止に向け、防疫の徹底。
- ④林業関係では、森林カーボンオフセットの活用を推進、森林環境譲与税を活用し、農道・農地周辺の森林整備や木育及び広葉樹の植樹等を実施。

#### 観光地域づくり関係

- ①第9回大地の芸術祭への準備や、サイクルツーリズムなど国県事業との連携。
- ②国県でも重視している移住定住施策の推進強化等。

#### 建設関係

- ①町道整備では、定期的な点検、適切な維持管理により、橋梁ほか道路設備の長寿命化。
- ②除雪関係では、ロータリ除雪車の更新により冬季道路交通の安全確保を図り、集落内の生活道路整備にも消雪施設事業による支援。
- ③住宅関係では、克雪すまいづくり支援事業で、住宅の克雪化を推進し、雪下ろし安全対策支援事業を推進。

### 教育関係

- ①保育関係では、保護者支援策として、使用済み紙おむつを保育園で処理。
- ②学校教育では、GIGAスクール構想に基づく一人一端末を活用した学習の充実、英語教育の重点施策として外国語指導助手を配置。
- ③生涯学習関係では、中学校の休日の部活動地域移行を段階的に進めていく。

#### 病院事業

- ①外来では、糖尿病・生活習慣病内科や専門外来の充実、訪問診療や訪問介護で地域に向く医療体制の充実。
- ②入院では、一般病床、地域包括ケア病床において、自宅や施設等で生活できるように退院・住宅支援を実施。
- ③医師、看護師等確保対策では、総合診療医等研修環境を整備しながら、関係する大学病院等との医療連携を密にし、医療従事者の確保に努める。

# 令和5年度 予算

## 一般会計

73億2,400万円

### 重点施策の主な項目

#### 総務費

庁舎整備（防災無線他）工事費

4,627万円

県人事交流負担金 970万円

電算処理費 7,228万円

定期バス運行・地域公共交通運行

事業及び車両購入・地域交通協議

会補助 9,450万円

グリーンピア津南整備事業

6,104万円

地域おこし協力隊設置事業

地域密着型5名 1,721万円

県・町議員選挙費 2,098万円

#### 民生費

要援護世帯除雪事業 522万円

社会福祉協議会補助金

2,102万円

ひとり親家庭医療・母子・在宅介

護手当等扶助 1,192万円

人工透析事業 693万円

障害者介護給付金

2億6,611万円

児童手当 9,540万円

シルバー人材センター委託

1,578万円

老人保護費 5,524万円

※老人施設本人負担以外の経費

#### 衛生費

子ども・妊産婦医療費

1,878万円

健康増進施設（クアハウス）等管

理・水中運動委託 4,930万円

乳幼児健診委託 590万円

がん検診委託 1,460万円

ワクチン予防接種委託

3,968万円

津南病院補助・出資金

3億9,177万円

津南地域衛生施設組合負担金

1億7,152万円

#### 農林水産業費

米・食味コンクール国際大会実行

委員会補助 1,400万円

認証米・環境保全農業・土づくり

等補助交付金 1,458万円

県単農業振興事業補助

農機等導入補助 1,562万円

営農継続支援事業補助 肥料等物

価高騰対策 5,100万円

飼料高騰対策補助 2,208万円

中山間地域直接支払交付金

1億1,912万円

多面的機能支払交付金

1億4,146万円

特用林産物（きのこ）電気料等物

価高騰対策 600万円

林道補修 1,860万円

林道維持管理委託 1,260万円

#### 商工観光費

観光施設修繕料 見玉直売所・リ

バーサイド・竜神の館等

1,170万円

大地の芸術祭 1,090万円

竜神の館ボイラー改修工事

2,200万円

移住定住事業

956万円

#### 土木費

道路修繕 2,720万円

道路測量調査 2,150万円

道路改良舗装工事

1億6,880万円

除雪対策費（人件費除）

1億4,995万円

除雪機械購入 6,100万円

克雪すまいづくり・雪下ろし安全

対策支援補助 664万円

住宅改修・耐震改修・空き家再生

等補助 474万円

#### 消防費

十日町地域広域事務組合消防費負

担金 3億4,909万円

#### 教育費

特別支援教育・複式学級臨時講師

設置事業 4,203万円

埋蔵文化財活用拠点施設（旧中津

小）工事 1億7,257万円

なじょもん管理 4,760万円

ジオパーク振興協議会補助金

2,142万円

マウンテンパーク津南クロカンコ

ース修繕 1,453万円

#### 特別会計

国民健康保険特別会計

9億8,573万円

後期高齢者医療特別会計

1億2,848万円

介護保険特別会計

19億0,260万円

簡易水道特別会計

1億5,260万円

下水道事業特別会計

4億5,389万円

農業集落排水事業特別会計

3億0,676万円

病院事業特別会計

収益的収支 14億9,829万円

資本的収支 5,147万円

# 一般・特別会計討論

## 一般会計

反対討論 桑原 洋子

町長の目玉政策であった「総合診療医等研修奨学金条例案」が反対多数で否決された。多額の税金を町単独で拠出しようとする姿勢は物価高、電気料金高騰等町財政を圧迫し町民の暮らしも厳しさを増すなか到底理解は得られない。医師の偏在をなくし必要となるに医師を派遣する制度を国や県に働きかけるべきだ。

保育園増築では議会軽視で説明もなく国交省に検証申請した。不落の原因を行政のチェック体制がなかったと、職員のせいにし、自身の拙速な建設ありきの姿勢が重大な結果と建設業者や町民・議会の不信感を招いた。全国に広がる給食費無償化にも後ろ向きで保護者負担を強いている。

今後新型コロナウイルス第8波より大きい第9波が来ない保証はない。危機感を持ち対策を講じること。スマート農業、大規模化を進める農政も高齢化を見据え支援を強めていただきたい。町長は国の悪政か

ら町民の命と暮らしを守る防波堤になっていただきたい。

賛成討論 久保田 等

新年度は原油、電気料、あらゆる物価の高騰の影響により経常的な経費を増額せざるを得ず、最近では一番厳しい財政運営となり、新年度の重要施策の取り組み、同時に将来に向けた持続可能な行財政運営を行っていくには、財政調整基金から4億9,900万円もの取り崩しは致し方ないものと理解する。

そんな厳しい財政の中、5つの特徴を持った予算編成で、①「ライフステージに寄り添った少子化対策・子育て支援対策」は、結婚支援のための出会いの場創出等の事業。②「安心できる医療・介護の体制づくりの推進」は、介護職の就労資金貸与事業等。③「特色ある産業が持続的に成長するための町づくり」は、継業支援事業等。④「暮らしの安全を守り利便性を高める」は、マイナンバーカードでのコンビニ交付事業。⑤「町の魅力を高めながら発信する」は、米食味コンクールの開催を初めとするブランド力向上事業。大変厳しい財政状況の中、町の

持続可能な発展のために、5つの各分野に於ける新しい取り組みを評価し、令和5年度一般会計予算に賛成する。

## 特別会計

### ◆国民健康保険

反対討論 桑原 義信

町は一般会計から繰り入れ保険料を低く抑えてきたが、2018年の国保の都道府県化により、県が管理して算定式や集め方など指導するようになり、法定外繰り入れも解消を求められ値上げしてきた。

新年度保険料は据え置きだが、物価高騰から見れば値上げと同じだ。町長は「法定外繰り入れを行うと、補助金の一部において当町だけでなく県が受ける交付金についても減額される」と答弁しているが、国県の圧力だ。市町村の判断で独自の保険料減免や拡充にペナルティなどほとんどない。地方税法717条は、子どもがいるなどの特別な事情、障がい者、ひとり親、高齢者などの所得が激減した世帯などの減額はペナルティ対象外だ。繰り入れを行うべきだ。国の「保険料水準統一加速プラン」

や法定外繰り入れの解消の押し付けをやめさせ、国庫負担を増やすこと、子どもの均等割の年齢拡大と軽減額の拡大を求める。

### ◆後期高齢者医療保険

反対討論 桑原 義信

年収が153万円を超える75歳以上の後期高齢者を対象に医療費の負担が大幅に引き上げられようとしている。政府は「2020年度時点の国保負担率は13・34%、見直し案で14・06%となる見込み」とし、医療保険料引き上げを盛り込んだ国保法等改定案を明らかにした。年金を減らし医療費負担は倍増している。

出産育児一時金の引き上げに伴い財源の一部に後期高齢者の医療保険料増額分が充てられようとしている。現役世代の保険料負担の上昇を抑制するためというのであれば、制度発足から減っている後期高齢者医療費に占める国庫負担の比率を改め国庫負担こそ増やすべきだ。弱い者同士で負担を押し付け合うような仕組みにしてはならない。大企業、富裕層優遇を是正し、5年間で43兆円の大軍拡予算を見直し、財源を確保すべきだ。

町は後期高齢者医療を守るため、国庫負担を増やすよう求めるべきだ。

### ◆病院事業会計予算

賛成討論 村山 道明

津南病院は今、院長・副院長先生を先頭に、職員が一丸となって通院者や入院患者に安心医療を提供、町民に頼ってもらえる病院として、最大限に取り組んでいると認識している。新年度からは、中長期計画で示されている「地域連携体制・在宅医療や生活習慣糖尿病等予防事業」を主眼に、内科・整形外科外来の新たな取り組みや、訪問診療の拡充など、かかりつけ医療院としての使命が強く伺える。今、まさに、津南病院は医師不足だ。

1年後開院する「県央基幹病院」は看護師職員の確保ができたと報告されている。しかし医師については、確保が難しいため、全国から募集している。これからの中長期計画を進捗するうえで最も大きな課題は、先々が心配な医師確保だ。希望を踏まえて、本予算を執行していただきたい。

### 総合診療医等 研修奨学金貸与条例

この条例案は、左の表内の奨学金及び海外留学支援金の交付について規定したものです。

資格取得後	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目
研修	総合診療医の専門研修（3年間）				
勤務先	十日町病院	津南病院	津南病院	津南病院	津南病院
給料等	約1,300万円	約1,500万円	約1,500万円	約1,500万円	約1,500万円
奨学金		1,000万円	1,000万円	1,000万円	1,000万円
海外留学支援	2年間最大1,550万円				

### 反対討論

滝沢元一郎

本条例案において、先ず今まで大変世話になった大学病院と

の関係は今後どうなるのか不明確である。十日町病院1年、津南病院4年の期間中、津南病院から給与等年1,500万円、計6,000万円、町一般財源から奨学金年1,000万円で計7,000万円、総計1億円、しかも常時2〜3名を受け入れるということである。町では今後十数年年齢人口が減らないと言われたが、研修期間の5年後には人口7,000人台、若い年代では風邪など軽微な症状の人しか利用しないような実態の中、医療需要は確実に減少していく。果して財源を確保できるのか。優秀な医師ほど5年後、奨学金返済が免除された時点で症例の多い他病院に移ってしまうのでは。そうなればいつでもこの制度を続けねばならないが、小さな自治体病院では無理があると思われる。また受入れ人数の規定がなく人数制限や中断ができるのか制度設計上理解できないこともある。よって本条例案に反対する。

### 反対討論

桑原 義信

町長が述べた「医師不足解消は喫緊の課題であり、将来の継続性からみても医師確保は必要だ」に

は同感である。説明の中で「町民イコール議会」と言ったが、記者発表する前になぜ懇切丁寧な説明をしなかったのか。議会で議論・研究をし、町民総意の中で進めるべきでなかったか。

医師の偏在をなくし、必要なところに医師を派遣する。地域を守るため国や県は、自治体病院を応援する責任があるが、国はその責任を放棄している。医師を必要とするところに、医師を派遣する制度を国に作らせる必要があり、そのために、他の地域の病院と連携して、国や県に働きかけるべきである。

議会に丁寧な説明と議論をすることを求めて、今回の条例案に反対する。

### 賛成討論

久保田 等

津南病院を維持していくためには常勤医師の確保が必須だ。

現在常勤の内科医は3名いるが、一人はこの3月で定年を迎える。

津南病院の現状とこの先を考えると、津南病院の管理職として運営に携わっていただけのような総合診療医の確保も必須だ。町として単独で医師確保ができ

るのであれば問題ないが、そうであれば十日町病院総合診療専門研修プログラム制度と連携してできるだけ応募の可能性が高いこの制度に取り組みべきだ。

これまで県に指導をいただき、ようやく十日町病院のプログラムに入れる様になったものであり、今までの特定の大学病院頼りも厳しく、医師の確保が益々きびしくなる事が懸念される。

よって今回は財政が厳しい事は重々承知の上で、津南病院を維持していくためにも、医師の確保は喫緊の課題であり、その手段としての津南町総合診療医等研修奨学金等貸与条例の制定に賛成する。

賛成討論 村山 道明

この事業は新潟県の支援を受け、津南病院医師不足の門戸を開く観点から最も意義ある新制度だ。厚生労働省の調査検証から、医師の44%は地方で勤務する意思があるという結果や、20代・30代では52%が地方勤務の意志があると回答している。

過去に私が勤務していた時を思い出す。内科医が1人で診察した時期があった。当時町民は日々不安を抱いていた。今、内科3人整

形外科1人の常勤医師で、町民は身近な所で治療・入院ができ、在宅医療と連携した病院に安心していれることでしょうか。しかしながらいつまでこの状態の保証が得られるだろうか。退職もある。今まさに津南病院は医師不足であることは事実だ。私も職員確保に努力する。

この新制度。最後の砦として、町民が安心して診察を受けられる医療提供の役割になるだろう。私は強い思いで賛成する。

## 総括質疑

財政の収支バランスは適切か

石田 タマエ

問 新年度予算では恒常的な経費が増え、多額の基金繰入れを予定。令和3年度決算と比較すると、電気料・人件費・扶助費の伸びが目立つが、いずれも必要不可欠。今後、社会資源構築のため起債・公債費も増える可能性があり、収支のバランスが保てるのか。

答 津南病院の経営の質は誰が高めていくのか。  
副町長 経営責任は町長にあると認識している。

町長 地方交付税を注視しつつ、時代に応じた事業にも対応していかなければならない。  
ふるさと納税による財源確保や事務事業、公共施設、受益者負担の見直し等を考えていく。

ゴミの削減対策と病院経営体質は

江村 大輔

問 ゴミの排出量削減対策と3R+リニューアブル(再生可能な資源に置き換える)は考えているか。

町長 プラスチック資源循環促進法では、自治体は家庭から排出されるプラスチック使用製品の分別回収と再商品化に努めることとされている。今後は3R+リニューアブルを研究する必要がある。

問 津南病院の経営の質は誰が高めていくのか。

副町長 経営責任は町長にあると認識している。

小規模農家に営農継続支援を

桑原 義信

問 肥料・電気料の高騰に補助制度を設けたが、農機具が壊れれば

農業をやめざるをえない中小家族農業への支援は予算に何も見られない。施策は何か伺う。

町長 この事業は中小家族経営も含めて支援の対象としている。営農継続や集落維持のためには集落内の話し合いが重要。機械補助については集落内の話し合いにより、組織化や機械の共同利用などによる機械の導入を検討いただきたい。

新たな子育て支援策は

村山 道明

問 施政方針で「町民ニーズに合った少子化対策・子育て支援の充実」と述べているが、新年度予算の措置は。

町長 保育園児の使用済おむつの家庭持ち帰りをなくし、保護者の負担軽減を図る。出産応援事業では妊娠・出生届時に一時金を支給する。

学校関係は、町外へ通う高校生の遠距離通学負担補助を行い子育て世代支援を行う。

**問** 脱炭素社会の実現に向けた取り組みで、生分解性マルチ購入補助を行っているが補助率は。

**町長** 通常マルチと生分解マルチの価格差の一部を補助し利用を促進したい。補助率は3分の1としている。

保育環境整備を聞く

栗原 洋子

**問** 保育士確保への新年度予算化はあるのか。

**町長** 特別な予算化はしていない。来年度の応募は少ない状況。令和6年度募集は、年齢制限の緩和、新たに保育実務経験を有する社会人採用枠を加え、必要な保育士確保に努めたい。

**問** 病院の経営感覚に富む人材育成への認識は。

**町長** 令和5年度中に経営強化プラン策定に取り組み。医師や看護師など医療スタッフはもとより経営能力や知識を有する事務スタッフなどを計画的に育成する。

請願・発議

請願・発議（意見書提出）

物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める  
請願・意見書提出  
コロナ禍での物価上昇と相次ぐ年金削減により、年金生活者の生活は益々苦しくなるばかりで、その結果生活保護へ

の移行が増加し、自治体の財政圧迫を招くこととなる。  
若者も高齢者も安心して老後を暮らせるよう、物価の上昇に見合う高齢基礎年金等の支給額の改善を求める

全員賛成で採択・可決

請願

「新潟の最低賃金は信越・北陸・関東13都県中12位の低さである。抜本的に底上げするための意見書採択を求める」請願書  
①最低賃金を全国一律最低賃金制度に改正すること。  
②地域別最低賃金 1,500円以上を目指すこと。  
③引き上げにあたり、中小企業支援の抜本的強化を図る。  
以上、政府に対し求める。

賛成少数で不採択

不採択の主な理由

中小企業の経営を圧迫する要因となり、現状では時期尚早である。

賛成討論

都会と田舎の賃金格差が広がったままだと、若者が都会から戻ってこないこともある。町で補助金制度を利用してでも、最低賃金の上昇を実現すべきと考える。

小木曾茂子

令和5年度予算ほか議案採決結果

議案番号	件名	表決状況													採決結果
		滝沢元一郎	小木曾茂子	久保田等	関谷一男	桑原義信	江村大輔	石田タマエ	村山道明	吉野徹	栗原洋子	津端眞一	草津進	風巻光明	
議案第7号	津南町総合診療医等研修奨学金等貸与条例の制定について	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	否	
議案第8号	津南町介護職等修学資金貸与条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
議案第16号	財政調整基金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
議案第17号	津南町簡易水道事業運営基金の処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
議案第18号	令和5年度津南町一般会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可	
議案第19号	令和5年度津南町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可	
議案第20号	令和5年度津南町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可	
議案第21号	令和5年度津南町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	可	
議案第22号	令和5年度津南町簡易水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
議案第23号	令和5年度津南町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
議案第24号	令和5年度津南町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
議案第25号	令和5年度津南町病院事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
令和4年 請願第3号	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
発議案第2号	物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
請願第1号	「新潟の最低賃金は信越・北陸・関東13都県中12位の低さである。抜本的に底上げするための意見書採択を求める」請願書	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	否	

# 町政を問う!!?

## 一般質問 (10議員)

- 1 **風巻 光明** 議員 (8ページ)  
1. 持続可能な津南病院の運営と課題解決策について
- 2 **関谷 一男** 議員 (9ページ)  
1. コロナ感染関連について  
2. 不平等ではないか、看護師と保育士
- 3 **久保田 等** 議員 (9ページ)  
移住・定住対策 (関係人口・交流人口含む) について  
1. 計画の推進及び進捗管理について  
2. 今後の移住定住対策の進め方について  
3. 保育園留学の受け入れについて  
4. 教育移住について  
5. ふるさと納税増 (津南ファン増) 対策について
- 4 **吉野 徹** 議員 (10ページ)  
1. 令和5年度の予算編成にあたって  
2. R405未共用区間開設促進期成同盟会の現状について
- 5 **桑原 義信** 議員 (10ページ)  
1. 国保料の引き下げを  
2. 公共交通の改善について

- 6 **衆原 洋子** 議員 (11ページ)  
1. 新型コロナ5類移行への課題と病院改革の進捗状況を問う  
2. 子育て環境維持と少子化対策の充実を問う
- 7 **江村 大輔** 議員 (11ページ)  
1. 新年度予算について  
2. 町内中学校と中等教育学校について  
3. 情報発信について
- 8 **滝沢元一郎** 議員 (12ページ)  
1. 埋蔵文化財活用拠点施設と秋山郷観光
- 9 **石田タマエ** 議員 (12ページ)  
1. 津南病院「総合診療育成プロジェクト」について  
2. 保育園運営の方向性について
- 10 **小木曾茂子** 議員 (13ページ)  
1. 新型コロナ感染症の5類への移行に伴う対策について  
2. 町道および家屋の除雪体制について  
3. 原発事故時の町の対応について

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

## 持続可能な病院運営の課題解決策は



かざ まき みつ あき  
**風巻 光明** 議員

### 中長期計画の概要は

**問** 津南病院の維持継続は町民にとって最重要課題である。本年度に中長期計画を作成したが、その概要は。

**町長** 将来にわたり効率的事業運営が行われるよう、平成29年の病院運営審議会の答申書の内容を内包した課題改善策を毎年作成するアクションプランを通じて可能な分野から実施していく。

### 医師確保事業の問題点は

**問** 多額な奨学金を投資し支援する医師確保事業の進捗状況と問題点は。

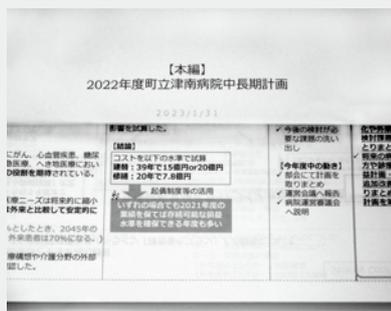
**町長** 常勤医師の確保対策は最も重要で喫緊の課題だ。関係病院や人材バンクを活用し取り組んできたが、確保に至っていない。新たな取り組み

### 病院建設の方向性を検討する時期だが

として県の力を借り、十日町病院の「総合研修医研修プログラム」において研修支援金制度を創設する。熱意ある人材を全国から募集するため記者発表をした。まだ成果は出ていないが、関心を持つかたが病院視察をした経緯はある。

**問** 旧病棟は50年を間もなく経過する。整備や更新について中長期計画の後半に記載され、新病院は4階建て27億円必要としている。また駐車場の拡張要望もあるが。

**町長** 3階の休床病棟の活用について具体的検討に至っていない。駐車場拡張計画は現時点ではなく今後施設更新と併せ判断したい。



公開された津南病院の中長期計画 (全161ページ)

# コロナ感染関連の現状を問う

## 感染状況と処置は



せきや かずお 議員  
関 谷 一 男

**問** ワクチン接種をした人と、していない人との感染状況の分析や調査はできないか。病院、施設等でコロナ感染に関連して死亡された人の処置は国からの強制か。またこの費用が大変高額であるが助成は考えられないか。

**町長** 津南町ではオミクロン株対応ワクチンの接種率が県、国の平均よりも高く、町民の皆様のご理解とご協力に感謝する。町には感染者の情報等がないことから、感染状況の分析、調査はしていない。一般的には、コロナワクチン接種は発症予防や重症度を下げるとは効果があり、接種をした人とならない人を比べると、接種をした人のほうが重症、死亡率が低いと言われている。

## 税務町民課長

コロナ関連での死亡者の処置については、厚労省、経産省からガイドラインが出てきているが強制ではなく基準を示しており、各地域の感染状況に沿った内容で対応とのこと。処置費用が高額であることは認識しているが現時点では対応費用の助成金は考えていない。

## 看護師と保育士への支援策は

**問** 支援金等で不平等ではないか。

**総務課長** 他地域でも看護師への支援金を出している所があり、今回事業を開始する。保育士にも展開していくか検討する。



マスク着用の緩和

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 子育て世代を増やすには新しい取組を

## 教育移住策は



くぼ た ひとし 議員  
久 保 田 等

**問** 教育移住のキーワードは「英語」と「自然」だ。

津南町の保護者へのアンケート調査でも、保育園の「遊び英語」、小中学校の「英会話」教育には高い関心を示している。これは津南町の保護者に限った事ではなく、全国的にも子育て世代は「英語」に高い関心を持っている。だから英語（英会話）に力を入れていく自治体でなければならぬ。

もう一つの「自然」については、感性が生まれ始める幼少期は子どもにとって「人格形成期」であり、都会の子どもに熱心な親ほど、自然体験や、食育体験で心身ともに健康やかに育つ環境を経験させたい思いを持っている。津南町の様な大自然の中で都会に負

けない教育が出来る環境を整えれば、子育て世代の若者が集まって来る。実際に全国でもこの条件が揃った田舎には子育て世代が移住している。津南町は、英語を学べるイングリッシュアドベンチャーや、進学校でもある津南中等教育学校もあり、条件が揃っている。後は保育園・小学校でのALTを増員し強化をすべきだ。見解を。

**教育長** 教育委員会としても子育て世代が増える事は望んでいる。保育・教育の視点で協力できる所は一緒に考えていきたい。（ALTを増員する予定はない）

## 保育園留学の受け入れは

**問** 交流人口を増やすためにも移住対策として保育園留学の受け入れ体制を早急に整えるべきだが見解を。

**教育長** 保育園留学はまだ情報が不十分であり、移住定住の担当とも受け入れ体制や経費などさまざまな調整が必要であり、教育委員会としては受け入れは難しいと考えている。

# 令和5年度予算編成を問う

町長施政方針

一般・特別会計討論

一般・特別会計討論、総括質疑

一般質問

委員会レポート



よしの野 徹 議員

## 町、町民一人当たりの負債額は

**問** 令和5年度予算案、自主財源31・1% 依存財源68・9%の財政状況のなかで、人口減少が進み、建設から30年以上経過した有形固定資産、公共施設は70%を越えている。今後の施策・インフラ設備改善等町財政が心配される。

**町長** 現状での町財政指数と町民一人当たりの資産額・負債額・純行政コストは何%か。

財政の見える化の施策のなかで進めており、現状町負債額は減少している。町公共施設の集約化に努め、税収の増を図ると共に、純行政コストの抑制を進める。

令和3年度決算の実質公債費比率は、10・7%、将来負担比率は35・7%である。

令和2年度決算で、町

民一人当たりの資産額は374万2,000円・負債額79万6,000円・純行政コスト89万8,000円である。町の土地・建物等有形固定資産は316億1,300万円であり実態を踏まえ進めていく。

## 国道405号未共用区間の現状は

**問** 国道405号の未共用区間、栄村〜群馬県中之条町までの12・1kmは、地域医療・産業・観光・福祉、更に今秋可動に向け進められている柏崎羽原発の避難道路としても大きな役割を持つ道路であるが、今後の方針と計画は。

**町長** 令和2年に波及効果の算定が行われた。引き続き推進・要望活動を進める。



405号現道の状況（切明水平舗道）

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 国民健康保険料の引き下げを

一般質問



くわはらの原 義信 議員

## 国保の法定外繰り入れで軽減を

**問** 被保険者の所得からすれば国保料が高すぎる構造的問題があるが、町長の認識は。

**町長** 構造的な問題があるのはご指摘のとおり。国は毎年3,400億円財政支援を行っているが問題解決に至っていない。

**問** 今の情勢の中、据え置きでは値上げと同じ。国保料は一般会計から繰り入れて引き下げべきだ。

**町長** 国保料の負担軽減を図るため一般会計から繰り入れてきたが、国は強く解消を求めており、法定外繰り入れを行う場合、補助金の一部において、町だけでなく県が受ける交付金についても減額措置を講じることから、保険料を引き上げざるをえない。今年

度はコロナ禍による受診控えもあり、県全体の医療費が下がったことから、一人当たりの保険料は据え置き、赤字繰り入れせずに予算編成をした。

**問** 子育て支援の立場から、町独自の子ども均等割負担軽減の拡充をすべきだ。

**町長** 一般会計からの法定外繰り入れの解消を強く求められており、導入は難しい。対象年齢拡大と軽減に伴う財政負担を県に強く求める。

## 公共交通の改善を

**問** 通院などの暮らしを支えるため増便で足の確保を。

**町長** 現行では増便は難しい。引き続き協議検討し、公共交通回数券の販売所増や運行ダイヤの調整などに取り組む。



病院受付

# 学校給食費無償化を実現せよ



くわばら ようこ 議員

## コロナ感染の5類移行で発熱外来対応は

**問** 新型コロナウイルス移行で5類移行などの課題は。

**町長** 現在の発熱外来機能の継続維持を検討。医師、看護師等積極的な採用を図る。

**問** 国は医療費の公費支援を一定期間後に廃止と補助金を削減の方針。見解は。

**町長** 不安のないよう激変緩和に対する措置や、十分な準備、周知期間を講じる等、今後も町村会など関係機関団体を通じて要望していく。

**問** 病院改築の進捗状況と感染症対応を視野に進めることの見解は。

**町長** 経営改善への取り組みを継続することで施設老朽化への対応が可能と考える。今後は適切な時期に町民、議員

の皆様と検討を重ねていく。

## 学校給食費無償化を実現せよ

**問** 今、全国で無償化が進んでいる。保護者負担軽減のため小中学校給食費の無償化を実現すべきだ。

**町長** 財政状況、近隣市町村の動向、受益者負担の観点等から慎重に判断していく。

**問** 若者はミニ公園や屋内施設など交流の場を求めている。町中心部の空き地利用は。

**町長** 私も公約に屋内の遊び場整備などを掲げた。町中心部は状況確認し検討が必要。



町内遊び場やミニ公園で交流の場を

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 新年度重点施策の目的と目標の明確化は



えむら たいすけ 議員

## 新年度重点施策の目的と目標の明確化は

**問** 町長の2つの理念、5つの特徴は重点施策とどのようにつながり、目的、目標は明確になっているのか。

**町長** 令和5年度当初予算編成にあたり、2つの理念のもとに5つの特徴を持たせた。

**問** 重点施策の中の各事業で町長は目標をどのように職員に示しているのか。

**町長** 基本的には総合振興計画の数値目標を指して、評価している。各事業において連携、連続、主体性を意識している。

**問** 総合振興計画に記載されていない事業の目標はどのようにになっているのか。

**町長** 町民ニーズを受け止めた中で、「ここまではいい

持つていきたい」と話をしながら予算を編成している。

**問** 財政が厳しい中で、だいたいここまで行きたいという様な予算付けをしては困る。数値目標がなければ議員はどのように評価すればいいのか。

**町長** しつかりとした計画を組んで施策が実行されている。

**問** 町長の指示と決定が曖昧ではないか。町長は事業をどのように評価するのか。

**町長** 予算を組む編成時期に当年度の実績や進捗状況を踏まえて予算を編成している。



計画・実行・評価・改善の繰り返しが大切

# 地方を蘇らせる鍵は観光

町長施政方針

一般・特別会計討論

一般・特別会計討論、総括質疑

一般質問

委員会レポート



たき ざわ げんいちろう 元 議員

## 秋山観光をDMOで

**問** 近年、観光は物見遊山のものから、個人や小グループによる行動型・自己実現型観光へ多様化・細分化している。自然や環境に加え、文化的な価値やストーリー性、体験創造、製作、交流が重視される。それを通じ、受入側と相手側がお互い高め合うのが地域づくりの原点である。何もしなければ地方は忘れ去られ衰退していく。秋山郷と大地の芸術祭、埋蔵文化財センター、ジオパークのコロナ、牧之の秋山記行という文化的ストーリー性もある。観光的要素が多いこのエリアをドステイネーション・マネジメント、マーケティングしては。拠点である萌木の里の認識は。

**町長** 秋山郷の気候・風土・動植物など独特であり、壮大

な自然、景観、文化・歴史があると思う。観光が非日常であるなら冬の秋山郷、年間1/3の雪の中での暮らしをストーリー化してその文化的背景を発信すれば引かれる人は多い。令和7年開館の埋文センターはジオパークの拠点でもあり、秋山観光の起点に位置する。芸術祭作品との融合で周遊性を高めたい。萌木の里は秘境ブームの頃に建てられたが入込みの減少、施設の老朽化、広大な敷地で管理が間に合わず、良好な経営状態とは言えず改善指導している。今後の観光は数十年にわたる地域づくり計画になるので指令塔としての法人設立は大きなステップとなる。その役割として秋山観光は妥当と思うが栄村との連携や地域住民受入れ体制などが課題となる。来年の人事を含め、官民連携して取り組みたい。



見倉から結束を望む

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

# 医師確保は金で解決か？



いし だ たまご 議員

## 医師確保対策事業の問題点は

**問** 「総合診療医支援制度」は、町単独事業か。また、年間2,500万円、4年間で1億円支払って、総合診療医の資格を取って退職した場合返還義務はないのか。

**町長** 財政的にはすべて町の負担。4年後に退職しても返還義務はない。

**問** 医師確保は金で解決すると見えるが、津南病院だけでなく医師不足で苦労している病院の今後の医師確保の解決に繋がると思うか。

**町長** これを全国のモデルとしたい。

**問** 現役医師にもそれ相応の処遇が必要。その結果人件費はどのくらいになるのか。

**病院事務長** 現役医師にもそれなりに考えていかなければならない。人件費の試算はしていないが、医師が1人増えれば収益も上がる。

**問** 今後の医療ニーズの動向と収支シミュレーションはしたのか。

**病院事務長** 詳細なシミュレーションは行っていない。

## 保育園の環境整備を進めよ

**問** 町内の保育園環境整備が叫ばれて既に10年以上が経過している。当初の計画時から10年も経てば環境もかなり変化している。今後の町の保育のありかたについて早急に協議する必要があるが、どう進めるのか。

**教育長** 国交省の検証が終わり報告した後、議会と相談し始める。

津南病院担当医週間表(4月~) TEL765-3161

内科	第二	第三	消化器科	外科	整形外科	小児科	耳鼻咽喉科	眼科	泌尿器科	内科	皮膚科	産科	小児科	外科
月	林 龍長	藤川 新太郎	中村 隆	森田 隆	半戸 隆	櫻井 隆	原山 隆	工藤 隆	古田 隆	月岡 隆	大庭 隆			
火	林 龍長	佐野 隆	中村 隆	森田 隆	半戸 隆	櫻井 隆	原山 隆	工藤 隆	古田 隆	月岡 隆	大庭 隆			
水	林 龍長	藤川 新太郎	中村 隆	森田 隆	半戸 隆	櫻井 隆	原山 隆	工藤 隆	古田 隆	月岡 隆	大庭 隆			
木	岩田 隆	藤川 新太郎	中村 隆	佐野 隆	井上 隆	大石 隆	原山 隆	工藤 隆	古田 隆	月岡 隆	大庭 隆			
金	林 龍長	村山 隆	川崎 隆	森田 隆	半戸 隆	櫻井 隆	原山 隆	工藤 隆	古田 隆	月岡 隆	大庭 隆			
土	林 龍長	藤川 新太郎	中村 隆	森田 隆	半戸 隆	櫻井 隆	原山 隆	工藤 隆	古田 隆	月岡 隆	大庭 隆			

外来診療は休診(急患は日直医師が対応)

医師不足で頭を悩ます当番体制

# 科学的知見に基づいた住民施策を



議員 小暮 茂子

**コロナ感染症の5類移行で町の対策は**

**問** 移行後、津南病院の発熱外来はどうなるか。

**病院長** 継続する意向。

**問** 老健施設、保育所などでの感染者対策は。

**町長** 国からの方針等を受け、対応を取りまとめたい。

**問** 治療費、検査費の負担はどうなるのか。

**福祉保健課長** 高額な治療薬は保険適用となるとの報道もある。

**町道と屋根の除雪体制の強化策を**

**問** 町道除雪隊員確保のために、手当の増額や人員養成が必要ではないか。

**町長** 会計年度職員技能労務職として働いてもらい、昇給もある。

**問** 民家除雪の人員不足解消、若手後継者育成のため、農業者を冬期間雇用してはどうか。

**福祉保健課長** 現行の事業との併用も検討する。

**原発事故時の町の対応は**

**問** 子どもたちの健康のために、安定ヨウ素剤の事前配布をするべきではないか。

**町長** 県において判断いただきたいと考えますが、地域の状況はお伝えしたい。



新潟日報8月25日記事  
「原発再稼働の地元合意は得られるのか」

Tsunan-machi Gikai Dayori 町政を問う!

## 議会議員の請負に係る規制の明確化及び緩和

令和4年12月に成立した「地方自治法の一部を改正する法律」により議会議員に係る請負に関する規制が明確化と緩和されることとなりました。(令和5年3月1日施行)

この内容は要約すると、個人経営の地方議員は、行政からの受注・請負については金額の大小に係わらず一切禁止されていきました。本法律の改正により請負の規制対象が緩和され、各会計年度において支払いを受ける請負対価の総額の上限は300万円とされました。

この法律は全国町村議会議長会で問題視され、全国町村議長会・会長である湯沢町の南雲議長が特にご尽力されたものです。尚、法人役員などを兼ねている議員の場合は別の規定があります。

## 自治功労者表彰

町議会議員として永年(27年)にわたり地域の振興発展と住民福祉の向上に尽くされた功績に対し、津南町議会より2名の議員が「全国町村議会議長会会長」より表彰されました。

【町議会議員27年在職功労者】

吉野 徹 議員  
草津 進 議員



左から吉野議員、恩田議長、草津議員

# 委員会レポート

## 総文福祉常任委員会

### 教育委員会との懇談会

◆とき 1月18日(水)

◆ところ 津南町役場

◆内容

①社会教育委員について

現在委員は8名で1名欠員。

社会教育委員の業務は、社会教育に助言するため、左記の職務を行う。

(イ) 社会教育に関する諸計画を立案する。

(ロ) 定時または臨時に会議を開き、教育委員会との諮問に応じこれに対して意見を述べる。

(ハ) 前二号の職務を行うために必要な研究調査を行う。

②令和5年度教育委員会事業内容

〈保育園〉

○ひまわり保育園増築棟工事は国交省の検証を踏まえ協議の場を設定し、今後の統合など方向性を検討する。

○保育園の使用済みオムツは、保護者の負担軽減のため保育園で

処分する。

○ALTの効果的な配置で遊び英語に工夫を入れる。

〈学校教育〉

○一人一端末の積極的活用。

○ALTを有効活用し外国語活動・英語授業の充実。

○地域学校協働活動の新たな展開。(学校図書整理支援等)

③中学校の休日の部活動の地域移行について

《スムーズな地域移行のための取り組みなど》

(1)令和5年度から休日の部活動の地域移行をスタートする。受入団体は、町のスポーツ少年団、スポーツ協会、吹奏楽関係者等とする。

(2)令和5年度と令和7年度で、地域に完全移行していくための準備を進める。

(3)平日の部活動はこれまで通り行う。休日の部活動地域移行の試行は、月1回程度から始める。令和8年度には、休日の部活動は地域での活動を目指す。

(4)休日の地域移行に伴う参加者の経費は、原則として受益者負担をベースとする。

### 懇談を終えて

社会教育委員の皆様には今後も積極的な各種行事への参画とコーディネート的存在で住民と行政のつなぎ役として頑張っていたいただきたいと思えます。

(担当 久保田等)

### 津南病院との懇談会

◆とき 2月7日(火)午後4時

◆ところ 津南病院4階会議室

◆内容

3年にも及ぶコロナ感染により病院の医師、看護師、職員は使命をまっとうし全力で感染拡大を防いでこられたことに感謝いたします。感染者も減少し落ち着きを取り戻してこられたので2年振りに懇談会を行いました。大きなテーマは「病院の現状と課題」・「損益状況と患者数動向」・「病院の中長期計画の概要」についてであります。

1. 病院の大きな赤字をどう改善するか

経営悪化の要因

①人口減による患者数の減少

②診療報酬制度交付税制度の問題

③不採算でもやらざるを得ない

### 地域事情

改善の対策状況

平成26年 自治体病院協議会に経営診断委託

平成27年 歯科の廃止 療養病

床の休床(52床)

町長から病院運営審

議会に諮問

平成28年 地域連携室・訪問看護ステーション開

始、外来の一部縮小、

休床している療養病

床を介護老健施設の

転換を検討

平成29年 外部給食の外部業者

委託、病院運営審議

会から町長への答申

提出

平成30年 院外薬局へ移行、通

所りハビリ拡充、一

般病床を45床に減

小、地域包括病床の

導入検討

以上の経緯があり令和元年か

ら効果が出てきた。

損益と患者数の動向

①令和4年度は入院患者数が減

少し収入は約4,000万円

の減、一方外来患者は増え収入

は2,000万円増の見込み。

②訪問診療は若干の減となるが

訪問看護、ドックはほぼ横

ばい。

結論として令和4年度はコロナ関連の補助金が見込めないため、前年度比で赤字額が大幅増加する。

3. 津南病院を県内他市町村立病院との比較

①津南病院の年間医業収益は元年で7億5,000万円であり同程度の病院でゆきぐに大和病院が12億円、湯沢医療センターが9億6,000万円なので低い。

②各病院との単価比較

入院単価3万5,000円で11病院中4位  
外来単価7,700円で9位  
入院患者数は1万3,000人で10位  
外来患者数は5万3,000人で6位

4. 病院並みを目指す。病院の中長期計画概要  
各事業別取り組み内容

- ①外来―医師体制の強化と専門医の獲得
- ②入院―入院規模45床をキープし稼働率80%を目指す。
- ③在宅医療―在宅医療と入院医療のバランス検討
- ④予防医療―要精密検査の人が受診し易い体制。
- ⑤糖尿、生活習慣病―腎症2期

以上の介入強化

⑥その他―災害医療、働き方改革の対応、人材確保と育成、電子カルテDX化、老朽施設への対応

### 懇談を終えて

病院の損益は平成時代からの対策で徐々に良くなってきている。答申やコンサルを着実に実行してきた成果だと思う。病院スタッフに敬意を表したい。中長期計画には難題課題があるが今後も全員の力で乗り越えていただきたい。議会も協力したい。

(担当 風巻光明)

## 産建委員会

### 道路除雪状況調査

◆とき 1月30日(月)

◆ところ 町内町道・国道道路線

◆内容 積雪の多い中、「道路除雪状況調査」を行った。

とりわけ所平、大場付近の道路は積雪量も多く、道の両側の雪壁には今にもなだれが起きそうな危険を感じた。

除雪隊の皆様は毎日早朝からの

除雪、雪壁の雪庇落としなど、大変危険を伴う作業であると感じられた。

調査後の検討会では、昨年度は特に大雪で、そのご苦労に見合う報酬が支払われたのか、前年の各種除雪隊員の急激な減少には、作業員の高齢化の他の要因もあるのではないかと意見があった。

### 調査を終えて

次節については十全な対応を探っていかねばならないと感じた。

(担当 小木曾景子)



◆ところ 津南町役場

◆内容

コロナ禍であり、例年開催している懇談会ではなく、JA営農部長と農業委員会長との情報交換会を行った。

JAからは令和4年度営農部の取り組み状況と、令和5年度の計画について説明を受けた。異常気象に悩まされ、肥料・飼料価格が上昇し、経営が圧迫したこと、また、重点方針として、安心安全な津南米をアピールし、優位性を持った中での販売力強化に向けて新たに米倉庫の建設に取り組むことが報告された。

農業委員会からは、稲作・畑作・畜産・担い手振興策について町への要望内容が示され、資材、肥料・飼料が上昇し、人口減少・高齢化が進む中、営農継続に必要な施策が要望された。

### 情報交換を終えて

農業を基とする津南町の農業を守っていくため、高騰対策、営農計画、食料自給率向上を最優先に取り組む施策がますます重要になってきた。

(担当 桑原義信)

## JA津南町・町農業委員会との情報交換会

◆とき 1月30日(月)

## 町民登場

皆さんが飽きないように  
新しいメニューをつくることを心がけ  
楽しく働く「えきナカ弁当」の  
藤木光希さんにお会いしました。

ふじ き み き  
藤木光希さん(割野)

家族：夫、子ども2人

実家は十日町市で、宝石関係の仕事をしていました。25歳で結婚、津南町の飲食店で働きながら調理師免許を取得しました。

その後介護施設に就職。「やりがいがあり楽しかったけど新型コロナの感染対応などで厳しかった」とのことです。

《現在は》

自分に合った仕事は、介護福祉士で、免許を取ったばかりでしたが、弁当屋さんにも興味があり、今の職場の上司に誘われ1年前からこの農家直営津南駅食堂『えきナカ』で働いています。

ここのメンバーは4人。弁当の配達時間は決まっているので大変なこともありますが、メンバーと和気あいあいと楽しく働いています。

今後は昨年の反省を生かし野菜をうまく使い、皆さんが飽きないように新しいメニューを考案していきたいとはりきっています。



《将来の夢》

ジェラートが大好きです。津南でお店を出すのが夢！

《町への希望》

町内に、別のスーパーや焼き鳥専門店もあればうれしいです。

4月には大割野に『まちナカ』店もオープンし、少しずつ活気のある街へ変わりつつあります。

## 6月議会告知

第2回定例会は6月14日(水)に開会予定です。お気軽に傍聴においでください。

## 津南町議会議員の 辞職について

津南町議会議員 関谷一男氏から、一身上の都合により議員辞職したい旨の辞職願が令和5年4月11日に議長宛てに提出されました。

これを受け、地方自治法第126条ただし書の規定に基き、議長において、4月11日付けで町議会議員を辞職することを許可しましたので、お知らせいたします。



湧水を取り入れた庭の写真

豪雪の町は湧水の町でもあります。春先には雪解け水が川をゴーゴーと流れ下り、田植えの準備に入る越後平野に大動脈である信濃川を旅していきます。その源の我が町では、苗場山麓のふもとから地下水となった湧水があらゆるこちらの集落の水道水となって利用されています。

百ノ木集落では、集落の水源からあふれ出た湧水を庭の造作に取り入れ、生活水や夏の冷蔵庫、野鳥たちの水呑み場として利用されています。通りかかる度に、心いやされる光景です。津南町、いいなあ。

## 編集後記

Editor's  
postscript